

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	統合保育推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	浅水 透			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害をもつ児童	意図	障害をもつ児童の集団保育を実施し、保護者の子育て支援と児童の福祉の増進を図る。
事業内容	定員に余裕のある公立保育所で、保育に欠けるという要件を有しない家庭の障害を持つ児童を、集団保育する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年度から中野久木保育所で実施。 定員は毎年4名以内としている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	受入人数（各年度毎）	4	2	3	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
療育相談を受け、「流山市統合保育事業実施要綱」第2条の規定から対象児童として判定された児童を対象としている。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,698,436	3,916,406	3,905,536
事業費(b)(円)	2,568,936	2,886,656	2,898,736
うち一般財源	2,568,936	2,886,656	2,898,736
職員給与費(c)(円)	1,129,500	1,029,750	1,006,800
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市独自の保育サービスであり、保育の質の向上を図るために、担当保育士の研修等及びスキルアップを図る。	③取組の課題	毎年、受け入れ児童数や障害の度合いは変化する。児童や環境の変化に対応し、保育の質の安定及び向上を図る必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	3人の3障害を持つ児童を受け入れた。	④今後(H30以降)の改善計画	流山市子どもにやさしいまちづくり条例の基本理念を貫き、市独自の保育サービスであるため、保育の質の向上を図るために、担当保育士の研修等及びスキルアップが必要と考える。